

宮古エフエム放送株式会社

第 42 回 番組審議会議事録

1. 開催日時 令和 6 年 2 月 29 日(木) 午後 6 時
2. 開催場所 イーストピアみやこ 1 階 会議室 1
3. 委員の出席(回答) 委員総数 :4 名
出席委員数 :2 名
◎出席(書面回答含む)委員 (敬称略)
及川 元
熊谷 禮子
畠山 善徳
中嶋 一幾

会社事務局側出席者

及川 育男 (代表取締役)
坂本 和 (取締役放送局長)
箱石 文彦 (放送担当室長)
他事務局 1 名

計 8 名

4. 議題

- 1) 毎週月曜日 18:30~18:55 に放送している「趣味人」の第 5 月曜日 1 月 29 日放送分について聞いていただき、意見、質問、感想を受けた。
この番組は、R5.10 月より放送を開始した日替わりコーナーで、みやこハーバーラジオの各スタッフがそれぞれの趣味に関して語る番組。今回は、5 週目の月曜日ということで営業の佐藤が担当。特撮ヒーローである仮面ライダースーパーワンを題材とした。

審議の回答

【感想】

ラジオは学生時代に良く聞いており、聞き流していながらその背景や知識に関心していた。専門的な内容も、当時の深夜放送ではもっと軽薄であったことから考えれば蘊蓄の分には良いと思う。題材が 40 年ぐらゐ前の物と推察するが、時代背景や他の要素を掘り起こしたら面白いと思う。当時番組のオープニング曲はその時代の人気タレントが歌っていた。自分は世代が違えど特撮ヒーロー番組を見ていたので、懐かしい気持ちがいよみがえった。

【感想・意見】

合間の効果音に工夫を感じた。テーマによっては共感性に差があり自分は何となくわかるが、女性はどうかかなと思う。最後まで聴いてもらうにはストーリーだけでなく、パーソナリティが感じたことや、なぜそれが趣味なのかが分かると良い。欲を言えば宮古に関連することを絡められたら。例えば今回のヒーローのグッズやおもちゃを地元のお店で買った思い出などがあると興味を持ってもらえるのではないか。

中身にあった岩手県出身俳優の話題は良かった。25分の中で変化を付けてやれば飽きずに聴けたのではないか。熱い思いを伝えるのは良いが、プラスαを考えてもらえる情報があれば良い。合いの手がコントロールを効かせて聴きやすい展開を。

《書類回答》

【感想】

パーソナリティ・職員の皆様の趣味を掘り起こす、面白い内容でした。世の中の流行に媚びず、一部にグッと刺さる内容が、人間味があって聴きごたえがありました。

宮古市内の様々な人のお話を、このコーナーで聞いてみたいと思ってしまう番組でした。同じ趣味を持った人達が、このコーナーで語り合っても楽しそうだなと思います。

未永く続いていただきたい内容でした。

【感想】

市内を毎日歩きますが、お聞きしながら「もったいない」と常に思っています。大人向けの情報も大切なのですが、子供向け情報やその家族に向けた企画ももっとあっていいと思います。

内陸部にお住まいの方々も巻き込みたい。

たとえ細やか、小さなことでも続けていけば次世代につなげるものが一つでも可能と思います。

5. 審議機関の答申又は改善意見に対して取った措置及びその年月日

【事務局】①

ラジオ放送として公共性のあるものが望ましい。趣味に偏りすぎるとチャンネルを変えられてしまう。今回の話し手が一方的であり、受け手が途中で飽きてしまっている印象。情報も内容の正確性が疑わしい。ある程度、地域性、ストーリー性、展開をしっかりしてほしい。

【事務局】②

テーマがわからなかったので長く感じた。初歩的な部分の説明があると良いかもしれません。

以上事務局より、皆様のご意見ご感想を番組制作会議にて報告し、これからの制作において反映できるよう努める旨回答。

6. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合の公表内容等

公表方法 : 本社事務室に備置き
 : 自社ホームページに掲載

公表内容 : 議事録を公表

公表年月日 : 令和6年4月1日